

利用濃度実測調査

調査場所	液性 (pH)	ばっ気装置	源泉	浴槽形態	最高値 [ppm]	
					湯面 10cm	床面 70 cm
A-1	3.0	ばっ気槽	単独泉	内風呂	9.6	7.5
A-2	2.9	ばっ気槽	単独泉	内風呂	4.0	1.0
A-3	2.8	ばっ気槽	単独泉	露天風呂	2.6	-
B	8.7	無	混合泉	内風呂	10.3	4.3
C	2.5	湯畑、ばっ気槽	混合泉	内風呂	15.0	9.0
D	2.0	湯畑	単独泉	内風呂	0.5	0.6

結果

浴槽内湯面 10cm では、温泉注入口付近が高濃度となっており、浴室床面では、浴槽に近い部分が高濃度となっている。濃度分布については、一般的に硫化水素発生源となる温泉注入口付近が高濃度となるが、風の影響を受けやすい。そのため、浴室床面 70cm の最高濃度は浴槽付近の温泉注入口の風下付近となっている。

検知管とセンサで測定値が大きくずれることはないが、センサは瞬間値を計測するため、測定中に浴室入口が開閉されたりすると風の影響により数値が変動しやすい。